

First Hit

End of Result Set



Generate Collection

Print

L4: Entry 1 of 1

File: JPAB

Aug 31, 1992

PUB-NO: JP404243474A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 04243474 A

TITLE: CARD TYPE SCHEDULE MONITORING DEVICE

PUBN-DATE: August 31, 1992

## INVENTOR-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

FUSE, KAZUO

## ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

SANYO ELECTRIC WORKS LTD

APPL-NO: JP03004286

APPL-DATE: January 18, 1991.

INT-CL (IPC): G06F 15/21; G04G 1/00; G04G 13/02; G08B 7/00

## ABSTRACT:

PURPOSE: To enable a card type schedule monitor to be carried by a participant to a group traveling and to exert alarm before predetermined time is reached such as hour of meeting, departure time, or the like.

CONSTITUTION: This schedule monitoring device is formed into a card like, and when traveling schedule data is received by a communication means 27, the data is stored in a memory 31, and the control section 23 of microcomputer manages the schedule based on a clock 28, and it reaches the time before, such as meeting, departure time or the like by the prescribed time, a buzzer 26 is driven to generate alarm, and the display representing a meeting place and that it is 5min to meeting time is displayed on a display section 12 of display 25. Whenever pushing + key 13 or - key 14, the content of each item of successive schedules is displayed on the display section 12.

COPYRIGHT: (C)1992,JPO&amp;Japio

First Hit**End of Result Set**

Generate Collection

Print

L5: Entry 2 of 2

File: DWPI

Oct 15, 1999

DERWENT-ACC-NO: 2000-006006

DERWENT-WEEK: 200001

COPYRIGHT 2004 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Radio communication system - has information retrieval server which accumulates peripheral area information of neighboring cell based on acquired terminal position information from memory, and sends it to mobile communication terminal

PATENT-ASSIGNEE:

ASSIGNEE

MITSUBISHI ELECTRIC CORP

CODE

MITQ

PRIORITY-DATA: 1998JP-0082202 (March 27, 1998)

Search Selected

Search ALL

Clear

PATENT-FAMILY:

PUB-NO

PUB-DATE

LANGUAGE

PAGES

MAIN-IPC



JP 11285053 A

October 15, 1999

007

H04Q007/34

APPLICATION-DATA:

PUB-NO

APPL-DATE

APPL-NO

DESCRIPTOR

JP 11285053A

March 27, 1998

1998JP-0082202

INT-CL (IPC): G06 F 13/00; G06 F 17/30; H04 L 12/54; H04 L 12/58; H04 M 3/42; H04 M 11/08; H04 Q 7/34; H04 Q 7/38

ABSTRACTED-PUB-NO: JP 11285053A

BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - A position information memory (2) stores the position information of a mobile communication terminal (1) positioned in a predetermined cell. An information retrieval server (3) accumulates the peripheral area information (24) in a predetermined cell or neighboring cell based on the acquired position information from the memory, and sends it to the mobile communication terminal. DETAILED DESCRIPTION - INDEPENDENT CLAIMS are also included for the following: an information retrieval server; and a mobile communication terminal.

USE - None given.

ADVANTAGE - Enables acquisition of real time peripheral area information of predetermined cell based on movement of mobile communication terminal, thus ensuring effective information provision. Enables simultaneous broadcast delivery

since acquisition of terminal position information and transmission of peripheral cell area information are performed simultaneously. DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows the component diagram of a radio communication system. (1) Mobile communication terminal; (2) Position information memory; (3) Information retrieval server; (24) Peripheral area information.

CHOSEN-DRAWING: Dwg.1/5

TITLE-TERMS: RADIO COMMUNICATE SYSTEM INFORMATION RETRIEVAL SERVE ACCUMULATE  
PERIPHERAL AREA INFORMATION CELL BASED ACQUIRE TERMINAL POSITION INFORMATION MEMORY  
SEND MOBILE COMMUNICATE TERMINAL

DERWENT-CLASS: T01 W01

EPI-CODES: T01-H; T01-J05B; W01-A03B; W01-A06G2; W01-B05A; W01-C02B; W01-C05B5;

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N2000-005449

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平4-243474

(43) 公開日 平成4年(1992)8月31日

| (51) Int.Cl. <sup>5</sup> | 識別記号  | 庁内整理番号  | F I | 技術表示箇所 |
|---------------------------|-------|---------|-----|--------|
| G 0 6 F 15/21             | L     | 7218-5L |     |        |
| G 0 4 G 1/00              | 3 2 3 | 7809-2F |     |        |
| 13/02                     | E     | 7809-2F |     |        |
|                           | Y     | 7809-2F |     |        |
| G 0 8 B 7/00              | Z     | 6376-5G |     |        |

審査請求 未請求 請求項の数1(全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平3-4286

(22) 出願日 平成3年(1991)1月18日

(71) 出願人 000144544

株式会社三陽電機製作所

岐阜県岐阜市上土居2丁目4番1号

(72) 発明者 布施 一雄

岐阜県岐阜市寺島町3丁目9番地

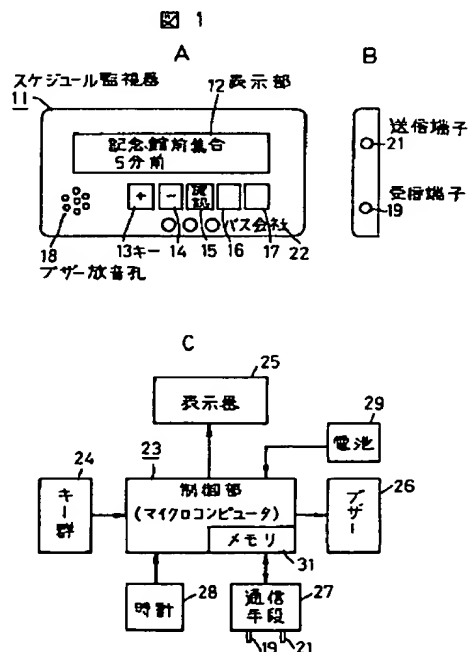
(74) 代理人 弁理士 草野 卓

(54) 【発明の名称】 カード式スケジュール監視器

(57) 【要約】

【目的】 団体旅行の参加者が携帯し、集合時刻、出発時刻などの所定時間前になると警報を発するようにする。

【構成】 このスケジュール監視器はカード状に構成され、旅行のスケジュールデータが通信手段27で受信されると、そのデータはメモリ31に記憶され、マイクロコンピュータの制御部23で時計28をもとにスケジュールを管理し、集合時刻、出発時刻などの所定時間前になると、ブザー26を駆動して警報を出し、かつ表示器25の表示部12に集合場所と集合時間5分前との表示をする。+キー13又は-キー14を押すごとに次々とスケジュールの各項の内容が表示部12に表示される。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 旅行スケジュールのデータを受信する通信手段と、その受信したデータを記憶する記憶手段と、時計と、その時計の時刻をもとに上記データを管理する管理手段と、その管理結果に応じて警報を発生する警報手段と、上記データの内容を表示する表示手段と、上記各手段を制御する制御部と、上記各手段及び制御部に動作電力を供給する電池と、が内蔵され、カード状に構成されているカード式スケジュール監視器。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】 この発明は例えば団体旅行の構成会員が携帯し、その旅行のスケジュールを監視できるようにしたカード式スケジュール監視器に関する。

## 【0002】

【従来の技術】 従来においては団体旅行においては、その参加者、つまりその団体を構成する会員に対し、旅行のスケジュールを用紙に印刷したものを配布して、そのスケジュールに沿うように通知すると共に、世話役員が旅行の途中で、例えば休けいの際に何時何分に集合することなどをその都度全員に報知していた。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】 従来においては、スケジュールが印刷された用紙を見れば出発時刻などがわかるが、次に出発すべき時刻を知り、かつ、その時刻を時計をたびたび見ながら気にするのはわずらわしいことであり、また何かに気が集中してしまつてつい出発時刻を過ぎてしまうことがあった。

## 【0004】

【課題を解決しようとする手段】 この発明によれば旅行スケジュールのデータが通信手段で受信され、その受信されたデータは記憶手段に記憶され、時計の時刻をもとに、記憶されたデータが管理手段で管理され、その管理結果に応じて警報手段から警報が発生され、また上記データの内容が表示手段で表示され、各手段が制御部で制御され、各部に電池から動作電力が供給され、これら各手段、制御部、電池の全体がカード状体内に収容されている。

## 【0005】

【実施例】 図1にこの発明の実施例を示す。図1A、Bはこの発明のカード式スケジュール監視器の外観例を示し、この監視器11は全体として方形カード状をしており、その一面の幅方向の一半部は表示部12とされ、他半部において+キー13、-キー14、確認キー15、その他のキー16、17が長手方向に配列されている。このキー配列の一端にブザー放音孔18が形成されている。図1Bに示すようにこの監視器11の一端面に受信端子19及び送信端子21が設けられている。必要に応じて監視器11の一面に、この監視器11を発行した会社名の表示22が印刷されている。

【0006】 図1Cにこの監視器11の内部構成例を示す。マイクロコンピュータよりなる制御部23に、キー13~17などのキー群24、液晶表示器25、警報手段としてのブザー26、通信手段27、時計28、電池29が接続されている。電池29は各部に動作電力を供給する。制御部23内には記憶手段としてのメモリ31が設けられている。

【0007】 メモリ31に旅行のスケジュール、つまり観光先、到着予定時刻、集合時刻などがデータとして予め記憶される。このスケジュール例を図2Aに示す。ここで警報ビットは、その時刻の所定時間前になると警報を出すか否かを示すもので、例えば出発時刻については警報ビットが立てられ、その出発時刻の所定時間前になると警報を出すことが可能とされている。

【0008】 このようなスケジュールデータのメモリ31への書込みは例えば次のようにする。図2Bに示すようなスケジュール編集機32が例えば旅行会社に設置され、そのキーボード33を操作して旅行のスケジュールの各項の内容を順次入力してスケジュールデータを作製する。その作製後、スケジュール編集機32の挿入口34に図1に示したスケジュール監視器11を、その受信端子19、送信端子21側から挿入接続し、スケジュール編集機32内のスケジュールデータを、スケジュール監視器11内のメモリ31に通信手段27を介して転送する。送信端子21はスケジュールデータのメモリ31への転送の確認応答などの送出に利用される。

【0009】 このように旅行スケジュールデータがメモリ31に記憶されたスケジュール監視器11はその旅行の参加者、つまりその団体旅行の構成員の全員に配布される。スケジュール監視器11は時計28の時刻をもとにメモリ31内のスケジュールデータを管理し、警報ビットが立てられている時刻について、その所定時間前になると警報を出すようにされる。またキー13、14を操作して、スケジュールの各項のデータを順に読出して表示させることができるようにされる。

【0010】 これらの処理は例えば図3に示すようになされる。即ちこの監視器11が動作状態にされると、常に所定時間、例えば1分間が経過したか否かがチェックされ、つまり例えば時計28が00秒になったか否かがチェックされ(S1)、00秒になるごとに、つまり1分経過するごとに、メモリ31に記憶されているデータ中の警報ビットが立っているもので現在時刻に最も近い今後の予定時刻を読出し、その時刻に対し、現在時刻が所定時間、例えば5分前か否かがチェックされる(S2)。もし所定時間前であればブザー26を鳴動させて警報を発生させ、これと共に表示器25にその予定内容を表示する。図2Aの例で、現在時刻が12時10分の場合には予定番号2の予定が読出され、表示器25の表示部12に「記念館前集合5分前」と表示される(S3)。

【0011】この警報によりこのスケジュール監視器11を携帯している者は、出発時刻が近づいたことを知ることができ、必要に応じて表示部12を見て、集合場所を確認することができる。この警報を知り、確認キー15を操作するとブザー26の駆動が停止され、必要に応じて表示部12の表示が消去される。つまりステップS1で所定時間経過していない時は割込み、つまりキー入力があるか否かがチェックされ(S4)、キー入力があると、確認キー15の入力か否かがチェックされ(S5)、確認キー15が操作された場合はブザー26を停止し、表示を消去する(S6)。

【0012】ステップS5で確認キーでない場合は、+キー13か否かがチェックされ(S7)、+キー13が操作された場合は、予定番号Nを+1し(S8)、その新たな予定番号の内容がメモリ31から読出され、例えば「12.30ことぶきにて昼食」と表示される(S9)。ステップS7で+キーでない場合は-キー14が操作されたと判断し、予定番号Nを-1し(S10)、その新たな予定番号の内容がメモリ31から読出され、表示部12に表示される。

【0013】ステップS2で現在時刻が、次に警報ピットが立っている予定時刻に対し所定時間前でない場合はステップS4に移る。このように+キー13又は-キー14を繰返し操作することによりスケジュールの内容のすべてを知ることができる。旅行途中でスケジュールに変更が生じた場合は旅行会社でスケジュール編集機32によりスケジュールの変更を行い、その変更したスケジュールを無線通信によりバスへ伝送し、バス内の簡易な書込み機で受信し、その書込み機に各人より回収したスケジュール監視器11を挿入してメモリ31のスケジュー

ールデータを書替える。スケジュール編集機32をバス内に設け、スケジュールの変更を可能としてもよい。

【0014】キー群24にテンキーを付加し、制御部23に計算機能をもたせることもできる。旅行先の国々で通貨の交換レートを記憶できるようにし、テンキーを操作してドルから円への換算を可能とさせることもできる。団体旅行の構成会員の個人名あるいは個人コードを登録しておき、旅行先のスケジュール変更に際し、スケジュール編集機に登録された全参加会員の個人コードと比較チェックすることにより、データ変更が全会員に対し終了したか否かがわかるようにすることもできる。通信手段27におけるスケジュール編集機32との通信を赤外線で行ってもよい。

【0015】

【発明の効果】以上述べたようにこの発明によれば、このスケジュール監視器を旅行参加者に所持させることにより、各出発予定時刻の所定時間前など、時刻が指定されている時は、その予定時刻の所定時間前になると、スケジュール監視器から警報が発せられ、予定時刻に遅れるおそれがない。形状がカード状となっているから携帯に便利である。

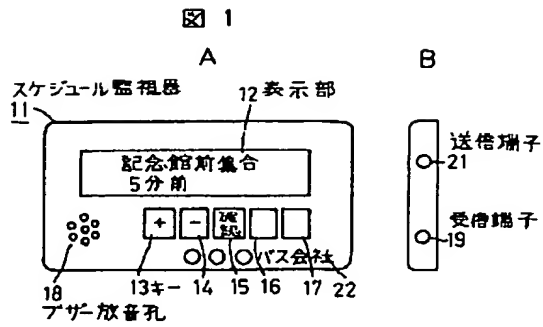
【図面の簡単な説明】

【図1】Aはこの発明の実施例の外観を示す平面図、Bはその右側面、Cはその機能ブロック図である。

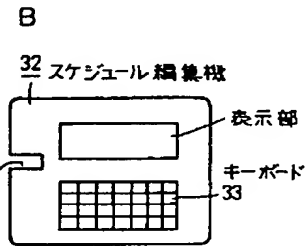
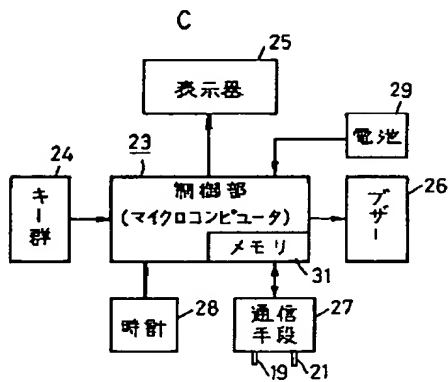
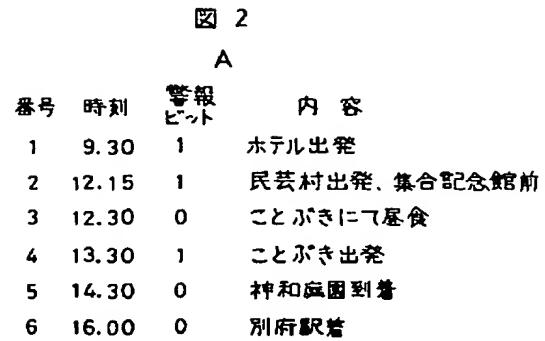
【図2】Aは図1Cのメモリ31内の記憶スケジュールデータの内容例を示す図、Bはスケジュール編集機の外観を示す正面図である。

【図3】この発明の実施例の処理動作の流れを示す流れ図。

【図1】



【図2】



【図3】

図 3

